

日本国民の皆さんに訴えます

日本国民の皆さん！

いま、日本政府は、今度の日本国会に「出入国管理法案」を上程し、これを強引に成立させようとしています。

この法律の目的は、在日外国人の九〇%をしめる在日朝鮮人の基本的人権、民主主義的民族権利、祖国統一のための活動などを徹底的に抑圧、剝奪し、そのうえ思うままに強制追放しようとするにあります。同時にこの法律は、日本と国交が正常化されていない国、つまり朝鮮、中国、ベトナムをはじめアジアの社会主義諸国との人事往来、交流を抑圧し、これらの諸国からの入国、在留活動をきびしく規制しようとするものであります。

現在、日本の多くの識者は、ファッショ的なこの法律が一九七〇年をまえに日米安保体制の実質的強化をめざし、日本の民主勢力に対する弾圧のさきがけとして、在日朝鮮人を弾圧するための治安立法であると指摘しています。

日本国民の皆さん！

在日朝鮮公民に対するこのような弾圧は、つまり軍国主義の復活、戦争準備等に関連しているものです。

日本政府は「出入国管理法案」だけでなく、在日朝鮮公民の民族教育を弾圧するため悪名高い「外国人学校法案」をあくまで立法化すると言っています。「外国人学校法案」が在日朝鮮人の民族教育に干渉し、朝鮮人学校を思うままに中止、閉鎖するための治安立法であることは周知の事実であります。また、日本政府は在日朝鮮公民の帰国事業をすでに一年三カ月にわたって中断させています。日本政府は、帰国船に乗ってくる朝鮮赤十字会代表団の日本入国手続について、それを簡素化するという自らの約束をくつがえし、第三者を介入させ問題を逆に複雑化することによって、あくまで帰国事業を破壊しようとしているのです。

つまり、日本政府は、朴正熙一味と政治的取引のため、人道上の問題を犠牲にし、在日朝鮮公民が自分の祖国に帰る道をとらしてしています。

日本国民の皆さん！

日本政府が、在日朝鮮公民に加えているこのようなファッショ的政策は、アメリカ帝国主義者と朴正熙一味の朝鮮における新たな戦争挑発策動と、米、日、「韓」核軍事同盟の推進などと結びついておこなわれているものです。

歴史がしめすように、ファッショは戦争準備の前ぶれであります。

在日朝鮮公民に対する日本政府のこのような迫害政策は、日本国民の平和の願いと利益にも反するものであり、アジア諸国民との友好親善をも阻害するものであります。

私たちは、日本政府が「出入国管理法案」を即時撤回し、「外国人学校法案」の立法化をやめ、在日朝鮮公民の帰国事業を速かに再開するよう要求します。

私たちは、日本国民の皆さんが、在日朝鮮公民のこの正当な要求にあらゆるかたちの支持声援をよせられるよう心から希望するものであります。

一九六九年 四月

在日本朝鮮人総聯合会